

保健だより

11月
November
令和6年11月20日
函館市立湯川中学校

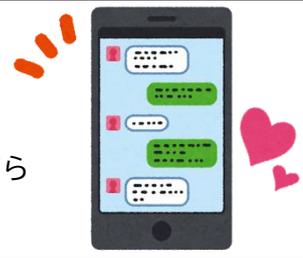
SNSの使い方に気を付けよう！

みなさんにとってSNSはとても身近なものです。SNSはインターネット上でいろいろな人とつながったり、情報を発信したりすることができます。しかし、ネット上で安易に情報発信したり、知らない人とつながるとトラブルや犯罪に巻き込まれてしまうこともあります。



SNSを利用するメリット

進級・進学で新しい環境になると、スマホで使っているアプリやSNSで流行りの動画など、共通の話題のおかげで友達と打ち解けるスピードが早くなるかもしれません。SNSでのコミュニケーションは、相手の表情や声などの反応を見ながら話す会話とは異なり、**自分の思っていることを思ったタイミングで伝えやすい**特長があります。



SNSを利用するデメリット

送信したメッセージが**違った意図で伝わったり、素っ気なく伝わったり**することもあります。また、顔が見えないからこそ、対面では言えないきつい言葉を送ってしまうこともあります。SNSでは、絶え間ない通知、反応がもらえる喜びなど、頻繁に利用したくなる仕組みが備わっています。それがSNSに依存してしまうきっかけになることも。



その使い方は大丈夫？トラブル事例集（総務省「インターネットトラブル事例集」）

スマホやインターネットがどんなに便利になってもそこに潜む危険はなくなりません。SNSを安全に使う力を育むために、実際にあったトラブルを知り、考えてみましょう。



<考えてみよう>
イラ立ちを覚えたり、その人を許せない気持ちが高ぶって、過激な投稿で個人攻撃をする人がいます。再投稿(※)も含め、こうした行為をしないために注意したいことは？

※再投稿：共感したり、気に入ったりした情報をそのまま投稿して他者に広める行為。サービスにより「リグラム」「リポスト」などと称される。



注意したいポイントは裏面へ！

ひぼう
誹謗中傷 ≠ 批判意見

相手を傷つける言葉や言い回しは、批判ではなく誹謗中傷。
絶対に投稿・再投稿をしてはいけません。



匿名性による気のゆるみ

名乗らなくても、それが誰かわかる仕組みがあります。
投稿する内容には責任をもって。



カッとなっても立ち止まって

怒りにまかせた投稿は炎上したり訴えられたりすることも…。
勢いで投稿しない習慣を身につけましょう。

誰かを傷つけるような
書き込みをするのは NG !

自分がされたら嫌なことは
他人にもしてはいけません。



情報モラルクイズ！

Q1. 友達の悪口が書いてあるメッセージを見つきました。どうすればいい？	Q2. 友達の面白い写真を撮ることができたので、SNS に投稿しようと思います。その時に起こる影響はなに？
1. 面白いので、自分が知っている悪口を書く。 2. 書かれた人が傷ついてはいけないので知っている大人の人に言って注意してもらおう。 3. 書かれている内容を、他の友達に教えてあげる。	1. その友達を傷つけることになるかもしれない。 2. 時間が経てば消えるので、悪い影響はない。 3. 仲の良い友達しか見ないだろうから、悪い影響はない。
Q3. インターネットを使って調べるときの正しい考え方は？	Q4. 自転車に乗っているときに、スマホや携帯電話に電話がかかってきました。どうすればいい？
1. 証拠となる表やグラフがあれば、書かれていることは必ず正しい。 2. ブログや SNS などの書き込みは誰でも行えるため、間違っているものもある。 3. 検索サイトで調べた情報は、表示順位が上に書かれているものほど正しい。	1. 止まって画面を操作して電話に出た後、走りながら会話をする。 2. 走りながら電話に出て、相手に「自転車に乗っているからあとで電話する」という。 3. 自転車を降りてから、電話に出て会話をする。

答え

Q1. 2 悪口を書かれた相手がどのような気持ちになるか考え、投稿することが大切です。インターネットは世界中の人が見られます。落書きとは違い、消すことができません。後悔しない行動を取りましょう。	Q2. 1 インターネットに情報を投稿すると、その友達の写真は世界中の人が見ることができます。また、時間が経っても消すことは不可能と考えてください。楽しいからといって許されません。
Q3. 2 インターネットは誰でも情報を書き込むことができます。そのため、すべての情報が正しいとは限りません。インターネット＝すべて正しい情報と考えるのはやめましょう。	Q4. 3 自転車に乗りながらや、歩きながらの操作は危険です。道路交通法が改正され、今年の 11 月から自転車運転中にスマートフォン等を使用する「ながら運転」が禁止され、罰則が強化されました。

